



しみず学びのエリア

ふじみだい

学校だより 6月号

令和7年 5月30日

板橋区立富士見台小学校

<https://www.ita.ed.jp/swas/index.php?id=1310261>



「学び」をつなげる・変わる「学び」・「学び」を支える

教務主任

新年度が始まり、2 か月が経ちました。子どもたちは新しい学年やクラスに少しずつ慣れ、これから友達や先生との関わりが深まり、学びが広がる大切な時期です。

板橋区では、子ども一人ひとりの学びを支え、教育の質を高めるために「いたばし学び支援プラン2025」を策定しています。そこでは、3つの視点（「GIGAスクール構想」「ESD(持続可能な開発のための教育)」「学びの循環」）と、4つの柱（「板橋区コミュニティスクール(iCS)の推進」「保幼小接続・小中一貫教育の推進」「誰一人取り残さない居場所づくり」「学校における働き方改革」）が示されています（詳細は板橋区HPをご覧ください）。本校でもこのプランのもと、子どもたちの学びを支える取り組みを進めています。



小中一貫教育では、義務教育9年間を一つの流れとしてとらえ、学力だけでなく社会性や思考力、自己表現力を育てています。学びが途切れることなくつながることがねらいで、本校は、志村第一中学校・志村第一小学校・志村第三小学校と「しみず学びのエリア」を構成しています。先日、志村第一中学校で「学びのエリア研修会」が開かれ、本校職員も参加しました。授業を見学し、他校の先生方と情報交換を行う貴重な機会でした。卒業生たちは笑顔で手を振ったり、静かに会釈したりと、中学生らしい落ち着いた姿で成長を感じました。

「しみず学びのエリア」では、体育の準備運動（富士見台体操）の共通実施や、志村第一中学校生徒会によるあいさつ運動など、日頃から交流を深めています。今年度は総合的な学習で「地域や板橋区」をテーマに各校で調べ、考える活動を行います。そのほか、3年生の学習交流や、6年生の中学校見学・部活動体験など、多くの活動を通じて、他校との横のつながりや中学校との縦のつながりを自然に感じながら学びます。

また、「学び」そのものにも変化が出ています。GIGAスクール構想のもと、タブレット端末などのICT機器を活用し、個別に最適な学びが進んでいます。一斉授業だけでなく、一人ひとりの理解度や関心に応じた学びが可能となっています。富士見台小学校でも、板橋区授業スタンダードに昨年から加わった「S」に取り組み始めました。「S」は Self + Select の意味で自分のペースで進めながら、学び方を選び（自己選択）、決め（自己決定）、調整する（自己調整）力を育みます。学年や教科に応じて実施を進めており、子どもたちは主体的な学びを少しずつ身に付けています。こうした学びで身に付ける力―「課題を見つけ、考え、取り組む力」「仲間と協力して学ぶ力」「情報を活用する力」など―は、これからの時代に求められる大切な力です。知識だけでなく、「学び方」「考え方」を学ぶことが重要です。

これからも、子どもたち一人ひとりの可能性を引き出し、未来を生きる力を育むために、学校・家庭・地域が一体となって学びを支えていきたいと思えます。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

お知らせ

＜本校の電話対応について＞

◇6月2日から学校営業時間外の留守番電話対応を自動化いたします。

電話対応可能時間は以下の時間帯になりますので、ご注意ください。

通常営業日 : AM7:45～PM5:30

長期休業中（夏・冬・春） : AM8:10～PM16:40

◇非営業日 : 全日留守番電話